

モニタリング結果報告書

施設名 : 県立座間谷戸山公園

指定管理者 : 財団法人神奈川県公園協会

施設所管課(事務所名) : 厚木土木事務所東部センター

(平成21年度 下半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
10月	11月11日	11月17日	月例報告、現地確認等
11月	12月10日	12月22日	月例報告、現地確認等
12月	1月11日	1月20日	月例報告、現地確認等
1月	2月10日	2月18日	月例報告、現地確認等
2月	3月10日	3月20日	月例報告、現地確認等
3月	4月9日	4月19日	月例報告、現地確認等

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A : 提案を上回る B : 提案どおり C : 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

<提案内容の概要>

- ・本公園の特徴である、里山の自然環境を守るため県民や市民団体と協働や連携して調査、保全活動を推進する。
- ・木道等の施設、樹木等の安全のための点検、清掃、補修等を行い来園者の安全確保に努めるとともに防災・防犯のため、業者、警察、関係機関との連携を図る。
- ・朝礼でのあいさつ唱和や研修を通じて来園者への気持良い対応に努めるとともにアンケート等を通じて利用者ニーズの把握に努める。
- ・利用促進方策として、従来のイベントを継続するとともに里山の自然や文化への探求心を深めるためのイベントや保全活動を推進する。

<実施状況>

- ・運営会議を構成する市民団体や県民と協働で山野草・ホタル・カエル等の生息調査や里山環境の保全、整備を行った。
- ・公園管理マニュアル等を活用し日常点検、施設点検パトロールを行い、木道等老朽箇所の補修を行い、大きな事故もなく来園者の安全を図った。また、委託業者による夜間巡視を行い、警察とも連携して災害・犯罪等の未然防止が図られた。
- ・毎日、朝礼でのあいさつ唱和を行い、特別指導員による研修を職員全員が受講した。また、アンケートによる利用者満足度調査を2回実施した。アンケート等を通じて利用者ニーズの把握に努める。
- ・利用促進方策として、従来のイベントである「米作り隊」「里山保全隊」等を継続するとともに新たなイベントとして「やとやま講座」「環境教育指導者養成講座」「パークセンター周辺での生き物観察エリア整備」等について市民団体とともに検討した。

3 収支状況

(単位：千円)

	収入額			支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料金額)	その他収入 (前年同月料金額)		
年間予算額	59,000	59,000	0	59,000	0
上半期計 (a)	28,664	28,664	0 (0)	25,685	2,979
下半期計 (b)	30,336	30,336	0 (0)	32,560	△ 2,224
10月	5,013	5,013		4,264	749
11月	5,279	5,279		5,619	△ 340
12月	6,035	6,035		5,782	253
1月	5,089	5,089		4,403	686
2月	4,301	4,301		4,639	△ 338
3月	4,619	4,619		7,853	△ 3,234
合計 (a+b)	59,000	59,000	0 (0)	58,245	755

1 指定管理者の収入を記載する(県の収入である「使用料」は含まない)。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
 ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
 ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

収入は指定管理料のみであり、計画通りの収入だった。
 支出はほぼ計画通りであるが、事務費、水光熱費、賃金等の節減により755千円の減額となった。
 事業内容としては、ほぼ計画通り執行した。

(今期に行った資本的な収入及び支出の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況		0
支出の状況	なし	0

収入の状況: 定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況: 車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況: 積立・借入れ等がある場合は、その内容(施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等)、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	208,228人	193,972人	7.3%
下半期計 (b)	197,125人	185,232人	6.4%
10月	39,106人	36,136人	8.2%
11月	37,232人	33,946人	9.7%
12月	29,321人	28,813人	1.8%
1月	31,977人	27,876人	14.7%
2月	26,332人	26,891人	△2.1%
3月	33,157人	31,570人	5.0%
合計 (a+b)	405,353人	379,204人	6.9%

利用状況に関する意見等

〔 半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。 〕

5 苦情・要望等の状況 (施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10月			1			1
11月	2					2
12月			2		1	3
1月					1	1
2月	1					1
3月	1		1			2

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔 類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。 〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・管理がよく、気持良い。	今後も良好な管理に努める。
	・パークセンター前の花壇がきれい。	花壇管理を継続する。
職員対応	・	
事業内容	・	
その他	・自然がいっぱいでよい公園です。	今後も里山の自然維持に努める。
	・園内を絶対禁煙にして。	屋外は禁煙ではないが吸殻は捨てないよう指導している。

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

なし

発生日	概要・対応状況等
月 日	
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

事故や不祥事がなかったため、随時モニタリングは該当なし

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			
月 日			

9 下半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> アンケート、御意見箱、電話等による意見・要望は概ね好意的なものが多いが、今後も利用者意見を配慮しつつ、里山環境の保全について理解を促進していきたい。 施設等の経年劣化、樹木の高齢化の進行を把握し対応について、土木事務所とも相談していきたい。 ログハウスの改修工事が着手されたが、効果的な利用方法について 市民団体の意向を踏まえ、土木事務所とも相談して検討したい。
施設所管課	<ul style="list-style-type: none"> 座間谷戸山公園の特徴である里山の自然環境を守るため、関係ボランティア団体を含めた、月1回の運営会議を行い、意見集約しながら公園の管理運営に努めている。 2度実施した満足度調査においても来園者の8割以上が満足しており、運営管理についても良好との意見を多数いただいている。 新たなイベントについて市民団体と検討し、平成22年度の実施に向け指定管理者として努力している。また、一大イベントである「谷戸山公園まつり」においても昨年より多い来園者があり年間の来園者も昨年度より増加している。 以上のことから指定管理業務として管理運営が良好に遂行されていると評価できる。